

# 食育だより

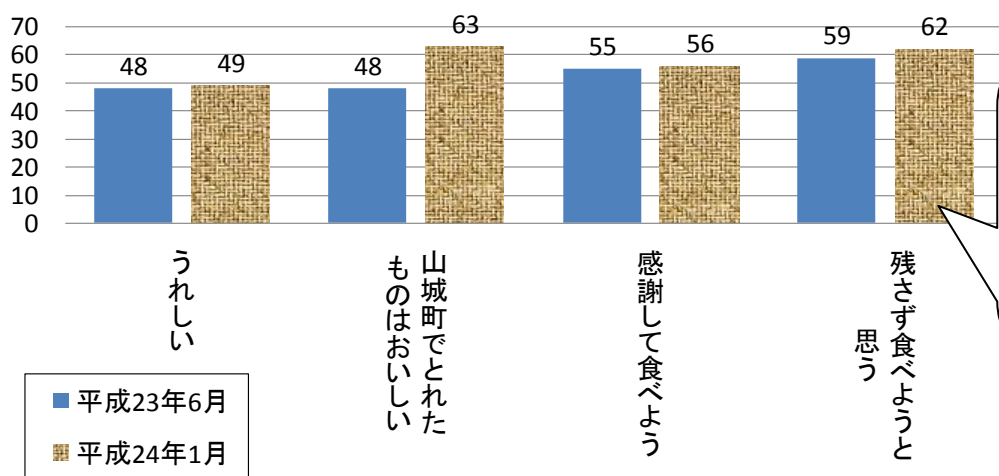


平成23年度 3月号  
木津川市食育推進委員会

木津川市では、昨年度に続き、文部科学省から「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の委託を受け、上粕小学校・棚倉小学校・山城中学校の3校で食育を進めてきました。学校・家庭・地域が連携し、地域の特性を生かした多くの取組を実践することができました。

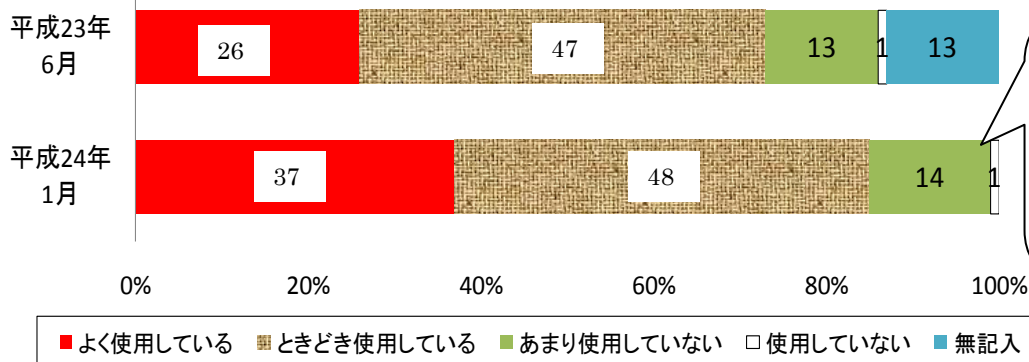
保護者のみなさまには、今年度の6月と1月に食育のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度実践してきた地産地消の取組や朝食をテーマにした取組について、6月と1月に実施したアンケート結果を比較しながら、変化のみられた結果をお伝えします。

給食に地元でとれた食べ物が出たとき、あなたはどのように思いますか  
(小学校)



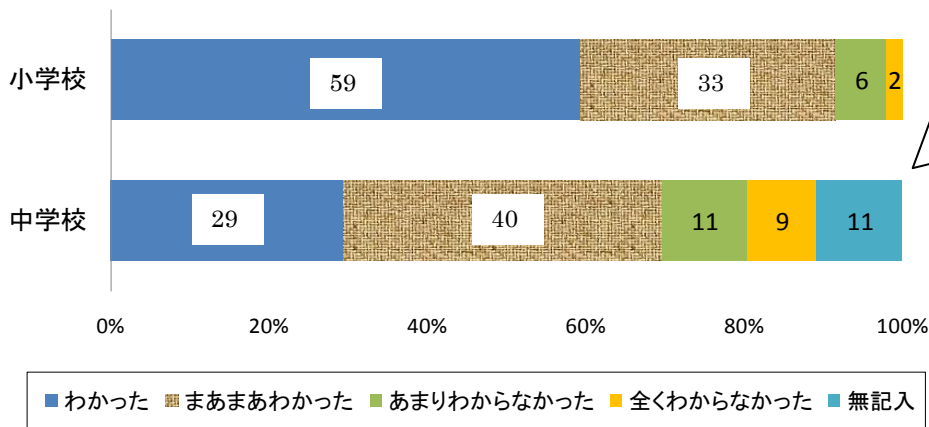
小学校では、今年度の6月に比べ、山城町でとれたものはおいしい、残さず食べようと思う児童が増えました。

家庭の食事に地元の食材を使用していますか(小・中 保護者)



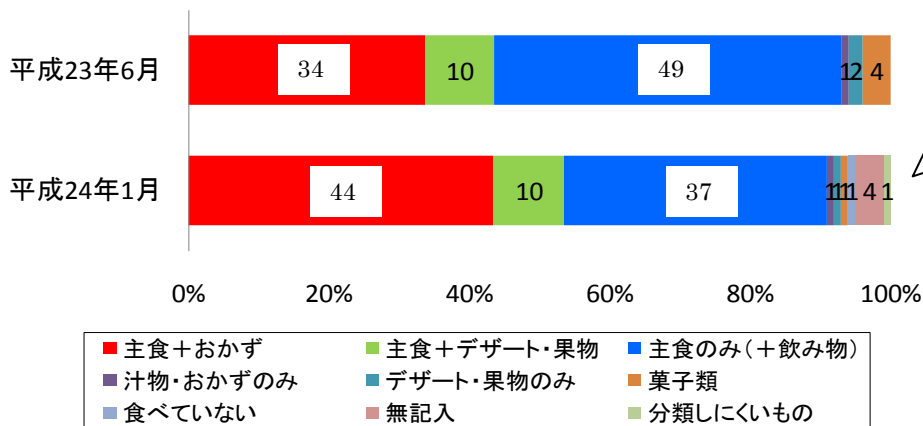
今年度の6月に比べ、地元の食材をよく使うご家庭が増えました。

モーニング5分間スタディを終えて、朝ごはんについてわかりましたか



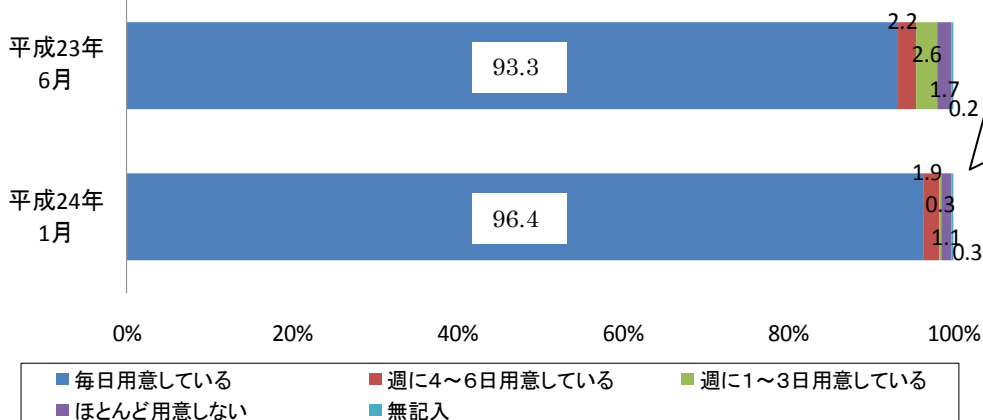
9月～1月に実施したモーニング5分間スタディで朝ごはんについて学習し、朝ごはんの大切さなどについて「わかった」、「まあまあわかった」と答えた児童・生徒は小学校で約9割、中学校で約7割でした。

今日の朝ごはんは何でしたか(小学校)



今年度の6月に比べ、朝食に主食と何らかのおかずを食べている児童は34%から44%に増え、主食のみ(+飲み物)の児童は49%から37%に減りました。

あなたのご家庭では、朝食を毎日用意していますか(小・中保護者)



ほとんどのご家庭で毎日朝食を用意していることがわかります。

今年度の6月に比べ、朝食を毎日用意する家庭が増えました。

食育の取組を通し、朝食の大切さや地場産物への興味・関心が高まったように感じます。食べることは一生続きます。食を通して健やかな体と豊かな心がはぐくめるよう、これからも地域・家庭・学校が連携し、食育を進めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いします。